

平成31年度学校自己評価システムシート (県立本庄高等学校)

目指す学校像	活力ある進学校～個性を伸ばし、世界にはばたく「高い志」を持った生徒の育成～
--------	---------------------------------------

重点目標	1 質の高い学びを実現する教育課程の編成と授業の工夫改善を図る。 2 学校行事、部活動の活性化と、第1志望を実現する進路指導を充実させる。 3 国際理解教育と、地域に開かれ信頼される学校づくり
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							学 校 関 係 者 評 価	
年 度 目 標					年 度 評 価 (月 日 現 在)		実 施 日 平 成 年 月 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	○新学習指導要領や入試改革への対応を踏まえ、進学校にふさわしい教育課程の改善、進学実績の向上等、進学校としての方向性と特色を明確にしたシステム改革に取り組む必要がある。 ○高大接続改革に対応する「本庄高校の学力向上策」を継続実施し、「組織力」と「情報共有」をキーワードに授業力向上に向けて実践研究を進める。	①進学校としての方向性と特色を明確にしたシステム改革	①-1 進学校にふさわしい教育課程の作成、授業確保の推進と進学補習の充実 ①-2 学校課題の分析・検討と、進学校としての発展を前提とした将来構想等の検討	①-1 新学習指導要領に対応した教育課程が編成できたか。 ①-2 補習計画に外部模試を有効に活用したり、センター試験レベルの小テスト等を導入できたか。				
		②教員の授業力の向上と学習の量的・質的保証	②-1 「学力向上策」の継続的・発展的実施と「質の高い学び」の実現 ②-2 生徒による授業評価の実施と評価結果を踏まえた授業改善の推進 ②-3 協調学習・外部機関研修の奨励、教員相互の授業公開、探究学習の効果的な実施等、授業改善の積極的推進	②-1 「質の高い学び」を実現するため、教科・学年で定期考査や模試結果のデータ分析を行えたか。 ②-2 生徒による授業評価を実施し、結果がフィードバックできたか。 ②-3 教員相互の授業公開を実施できたか。また、研究協議3回以上実施したか。				
2	○知・徳・体のバランスの取れた人材育成に向け、生徒主体の学校行事や部活動を奨励し、「高い志」とチャレンジ精神を育てる必要がある。 ○進路講演会やキャリア教育を充実させ、将来への展望を持たせると共に、第1希望を実現させるための組織的・計画的な進路指導を充実させる必要がある。	①生徒主体の学校行事の活性化と部活動の充実	①-1 生徒主体の学校行事、部活動の活性化と、HPによる学校情報の積極的な公開 ①-2 「部活動にかかる活動方針」に基づいた適正かつ効率的な運営による部活動の充実	①-1 HPのアクセス数が前年同時期より増加したか。 ①-2 各部活動の目標が達成できたか。また、生徒の「学習と部活動の両立」について教員の肯定的回答が前年比上昇したか(H30: 61.2%)。				
		②生徒の第1希望を実現するための進路指導等の充実	②-1 第1志望・現役合格を実現するきめ細かい科目選択指導・個別指導の充実と進路情報の積極的かつ適確な提供 ②-2 生徒の学力把握と進路検討会の実施等、進路指導部を中心とした組織的・計画的な指導の実施	②-1 進路情報を毎月1回以上配信できたか。また、生徒・保護者の進路情報の提供に対する満足度が、85%以上になったか。 ②-2 自分の進路決定先に満足している生徒が80%を越えたか。				
3	○世界を舞台に活躍する「高い志」を育てるため国際理解教育を充実させ、行動力を持った生徒を育てる。世界を肌で感じる体験を充実させ学習モチベーションの向上につなげる必要がある。 ○県北地域の生徒数の減少が進行中、進学重視型単位制の進学校であるという特色を明確にする。また、地域との連携を強化し、学校の認知度を高め地域の中学生や保護者の期待に応える「活力ある進学校」を目指す。	①世界を体験する国際理解教育の推進と学習モチベーションの向上	①-1 オーストラリア姉妹校への夏の海外研修・ターム留学の円滑かつ効果的な実施等、国際理解教育の推進 ①-2 アクティブラーニングや、大学入試改革への対応等の主体的学びを促す授業改善の充実	①-1 海外研修・ターム留学に参加した生徒の満足度が90%を超えたか。 ①-2 生徒アンケート「学校は生徒の個性や能力を伸ばしている」の肯定的回答が前年比上昇したか(H30: 83.4%)。				
		②「活力ある進学校」の実現に向けた学校・家庭・地域等が連携した取組の実施	②-1 市主催等外部各種イベント等への協力、本庄特別支援学校等異なる校種と連携した取組の実施 ②-2 学校の特色と実績を明確に打ち出した全教員による積極的生徒募集の実施 ②-3 PTA・後援会・同窓会と連携協力した学校支援・生徒支援の活性化と創立100周年に向けた準備協議	②-1 地域と連携した取組ができたか。 ②-2 学校説明会の参加者数、並びに訪問の受け入れ等が前年度より増加したか。 ②-3 PTA・後援会・同窓会と連携した取組ができたか。				